

平成28年3月8日に総務生活委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 平成28年度からの雪舟くん運行見直しについて ●

～内容～

平成28年度からの雪舟くんの見直し点として、利用対象者の拡大、タクシー料金助成券のバスへの適用、お盆期間の運休の3点を実施しようとするもの。

～結果～

次のような質疑等の結果、総務生活委員会としては、「委員会の意見を踏まえ、利用者の拡大については再検討されたい。また、他の2点については、詳細な資料により再度所管事務調査を実施する。」との取りまとめとした。

～質疑～

問：利用対象者を市外の者に広げようとしているが、利用の見込みはどうか。

答：1日平均3人程度と想定している。

問：市外住民からの雪舟くんの利用要望があったのか。

答：倉敷市の西坂台団地の人から利用させてもらえないかという声があった。倉敷市の西坂台にも「やまびこ号」というNPOが運行しているタクシーがあり、それには総社市民も乗れて、倉敷に行けるようになっている。相互応援ということ考えたものである。

問：雪舟くんは市民からの乗車要望に十分応えられていないのに、なぜ市外の住民の要望に応えなければならないのか。

答：市外の人であっても、総社市を生活圏域としていて、特に病院や買物等に来てくれることは、まちの活性化にもつながり、市全体の経済効果も上がるものとして、利用対象者拡大の判断をした。

問：雪舟くんはもともと経済効果のために運営していない。当初の目的は何だったか。

答：総社市新生活交通の運行に関する条例の中では、「市民等に必要な交通手段を確保するため」と規定している。

問：利用対象者の拡大は、雪舟くんの根本に関わる案件である。そのときの判断で、これはいい、これは悪いというのでは駄目なので、拡大解釈するのであれば、拡大解釈できるように規定を改善していかないといけないが、どうか。

答：本日の委員会での意見を踏まえ、改めて考え直して、規定を直すことも含めて検討したいと思う。

● ふるさと納税の取組の拡充について ●

～内容～

ふるさと納税寄附金の返礼品の拡充など、取組の拡充を検討しているもの。

～質疑～

問：ふるさと納税に積極的に取り組んでいる備前市の例はどうか。
答：備前市には日生漁港があるので、海産物も取り扱っている。大きな寄附を集めているのは、電化製品だと思う。
問：ふるさと納税の拡充に伴う市内業者の育成とか活力促進についてはどうか。
答：物流拠点やグループ企業から直接買って発送すると、市内の小売店舗にメリットがない。市内の小売店舗から返礼品を調達したい。市内の小売店で商品を取り扱ってもらえれば、小売店の活性化にもなる。
問：ふるさと納税の取組にあたり、商工会議所会員等が活発に活動して、新しいものを提案し、事業所にメリットがあるようなシステムが構築できるか。
答：ふるさと納税の取組では、第4の収入財源、それと地域の活性化、この2点を目標として考えているので、小売店舗の活性化ができるようなシステムづくりを確立していく必要がある。
問：ふるさと納税寄附金に対する返礼品の還元率はどうか。
答：平成27年4月付で総務省から文書が出て、返礼率については、9割や10割の返礼率に設定してはいけないとされている。節度を守りながら、市のPR、市内の活性化、そして寄附金を集めるために積極的に活動していきたい。
問：市内事業者から公募を行うということだが、いつから行うのか。また、この取組はいつからやるつもりなのか。
答：商工会議所等と早急に話を詰めて、早い段階でやりたい。各個人が寄附をして住民税が免除になる額は、枠が決まっている。皆が4月1日からふるさとチョイス等のサイトを見て、寄附をしていくことになる。後追いで始めると、寄附控除がないから寄附をしないという場合も想定されるので、できるなら4月1日からやらせてもらいたい。返礼品の予算は、当初で5億3,000万円程度計上しているが、この算出は、大部分がお米である。拡充する返礼品を扱う予算措置は当初予算ではできていない。ただし、お米については、11月以降の発送になるので、当初予算に計上している約5億円は、秋以降しか歳出予算の執行はしないので、できればその予算を活用し、4月1日からやらせてもらいたい。
問：早いタイミングで拡充したいなら、また具体的な商品名なども上げて、幾ら歳出を増やすという形で、議長を通して臨時議会などで、やってもらいたいと思う。余り4月1日開始に固執すると、議会のルールとバッティングすると思うので、検討願いたいどうか。
答：これから公募をかけたり、それから商工会議所の手続きを行ったりするが、手続き

の中で瑕疵があると、始まって良いことにならない。そういった部分は、慎重に詰める必要があると認識している。当初予算の4月1日から開始するのではなく、準備ができたなら、議長と相談し、臨時市議会を開催してもらい、その中で補正予算を計上させてもらうことも考えている。いずれにしても、今後の商工会議所との話等、綿密に詰めて、準備ができ次第と思っている。

問：余り無理をするとルールに差し支えるので、是非慎重に考えてほしい。ふるさと納税は急に始まったわけではないので、日程に余裕を持つよう十分注意してほしいがどうか。

答：今後は、計画的に予算を計上していくようやっていきたい。